



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 大
 コード番号 6932 URL <http://www.endo-lighting.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 良三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営品質本部長 (氏名) 佐川 武志 (TEL) 06-6267-7095
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	29,557	63.1	5,809	122.3	5,766	159.2	4,627	686.0
24年3月期第3四半期	18,117	34.1	2,613	65.3	2,224	85.7	588	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 4,728百万円(920.7%) 24年3月期第3四半期 463百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	327.58	—
24年3月期第3四半期	46.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	39,505	18,418	46.6
24年3月期	33,245	8,954	26.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 18,401百万円 24年3月期 8,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.50	—	17.50	30.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当金の内訳 25年3月期(予想) 記念配当 5円00銭
 普通配当 20円00銭

平成25年3月期期末配当予想につきましては、本日公表の「平成25年3月期期末配当予想の修正(大阪証券取引所市場第一部銘柄指定記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	50.9	8,200	97.7	7,400	111.8	5,600	156.5	391.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期3Q	14,776,321株	24年3月期	13,462,068株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	50株	24年3月期	843,450株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期3Q	14,127,120株	24年3月期3Q	12,618,618株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、尖閣諸島国有化を契機とする日中関係の緊張の高まり、米国における財政の崖回避の成否、中国の経済成長率鈍化等、将来に対する不透明感が強まりました。12月には衆議院選挙が実施され、新政権による金融緩和と圧力が強まるとの見込みから円安が進行しておりますが、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の下で、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、高効率なLED照明器具の開発、製造、販売に注力しました。夏季の電力不足懸念、省エネ志向の高まりもあって、当社製品に対する需要は引き続き旺盛であり、当社は、対前年同四半期比で大幅な増収を達成し、当第3四半期連結累計期間の売上高は295億57百万円(前年同四半期比63.1%の増収)となりました。

事業規模の拡大に際して、費用の増加を極力回避し業務の効率化に取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間における経常利益は57億66百万円(前年同四半期比159.2%の増益)となりました。

円安の進行により、将来の為替リスクに備えるための為替予約等の評価益12億14百万円を特別利益に計上し、四半期純利益は46億27百万円(前年同四半期比686.0%の増益)と対前年同四半期比で大幅な増益を達成しました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、これまでの東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、広島、仙台に加え、新たに新潟、金沢、岡山、高松にショールームを開設し、展示会の開催等の積極的な販売活動を展開することにより、業務用LED照明分野における高いブランドイメージの確立に努めました。新製品に対する大手設計事務所、ゼネコン、サブコン等の評価も高く、商業施設やオフィス等の大型施設向けの販売が順調に推移しました。

海外子会社であるENDO Lighting(THAILAND)Public Co.,Ltd.及び昆山恩都照明有限公司(中国)は、LED照明器具の主力製造工場として生産体制を強化し、高品質でローコストな製品の安定供給を実現、当社グループの売上高及び利益の拡大に貢献しました。

また、平成24年11月には、大阪府東大阪市に建設中であった新製品開発拠点「テクニカルセンター」が稼動を開始しました。今後は同拠点を中心に、当社グループの中核事業であるLED照明器具の新製品開発と更なる品質の向上を推進します。

この結果、売上高は284億円(前年同四半期比61.0%の増収)(セグメント間取引含む。以下同じ。)、セグメント利益(営業利益。以下同じ。)は61億60百万円(前年同四半期比74.3%の増益)となりました。

② 環境関連事業

当セグメントにおきましては、当社グループの提供する、省エネ性能を重視した高効率LED照明器具や制御機器の消費電力削減効果が、食品スーパーを始め流通店舗で高い評価を得て、レンタル契約実績、機器販売高は順調に増加しました。

この結果、売上高は44億85百万円(前年同四半期比196.5%の増収)、セグメント利益は7億42百万円(前年同四半期比162.9%の増益)となりました。

③ インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し、積極的な販売促進活動を展開する一方、代理店網の強化や特注家具の販売にも積極的に取り組み、ブランド認知度の向上と販路開拓に注力しました。インテリア家具事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、更なるコストダウン・物流合理化を推進することで採算性の向上を図っております。

この結果、売上高は5億60百万円(前年同四半期比43.3%の増収)と増収を確保したものの、採算面は厳しく、セグメント損失は86百万円(前年同四半期は1億10百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間における総資産は395億5百万円(前連結会計年度末比62億60百万円の増加)となりました。

主な要因は、たな卸資産の増加25億51百万円及び有形固定資産の増加31億99百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間における負債は210億87百万円(前連結会計年度末比32億3百万円の減少)となりました。

主な要因は、仕入債務の減少9億81百万円、未払法人税等の減少7億60百万円及びデリバティブ債務の減少12億33百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産は184億18百万円(前連結会計年度末比94億63百万円の増加)となりました。

主な要因は、一般募集による新株式発行及び自己株式の処分並びに転換社債型新株予約権付社債の株式転換による資本金の増加16億26百万円及び資本剰余金の増加33億62百万円、四半期純利益46億27百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年11月12日の「平成25年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました業績予想と比較して、売上高、営業利益、経常利益については、ほぼ予定どおりに推移しております。しかしながら、当期純利益につきましては、前回予想時より為替水準が想定以上に円安となり、特別利益のデリバティブ評価益が発生したことから、前回予想にデリバティブ評価益の発生のみを織り込み、下記のとおり業績予想の修正を行っております。

なお、個別の業績予想につきましては、平成24年11月12日の「平成25年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました業績予想に変更はありません。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 40,500	百万円 8,200	百万円 7,400	百万円 4,700	円 銭 328.97
②今回修正予想	40,500	8,200	7,400	5,600	391.96
③増減額 ②-①	—	—	—	900	—
④増減率 ③/①	—	—	—	19.1	—
(参考)前期実績 (平成24年3月期)	26,847	4,147	3,493	2,183	173.02

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産につきましては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,828	5,010
受取手形及び売掛金	6,869	5,463
商品及び製品	5,122	7,570
仕掛品	632	573
原材料及び貯蔵品	3,472	3,636
繰延税金資産	1,038	949
その他	1,736	1,640
貸倒引当金	△2	△58
流動資産合計	21,699	24,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,798	5,793
減価償却累計額	△2,093	△2,223
建物及び構築物(純額)	2,704	3,570
機械装置及び運搬具	1,582	2,018
減価償却累計額	△1,108	△1,251
機械装置及び運搬具(純額)	474	766
土地	4,093	4,083
リース資産	546	1,004
減価償却累計額	△12	△118
リース資産(純額)	534	886
建設仮勘定	297	1,389
その他	2,744	3,749
減価償却累計額	△1,793	△2,189
その他(純額)	950	1,560
有形固定資産合計	9,056	12,255
無形固定資産		
ソフトウェア	641	603
ソフトウェア仮勘定	1	7
のれん	816	784
リース資産	—	14
借地権	71	70
電話加入権	2	2
無形固定資産合計	1,534	1,482
投資その他の資産		
投資有価証券	216	240
繰延税金資産	413	406
その他	449	457
貸倒引当金	△123	△123
投資その他の資産合計	955	980
固定資産合計	11,546	14,719
資産合計	33,245	39,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,191	3,209
短期借入金	6,670	5,760
1年内返済予定の長期借入金	1,188	1,434
1年内償還予定の社債	300	300
リース債務	101	192
未払法人税等	1,984	1,223
賞与引当金	488	226
役員賞与引当金	30	—
製品保証引当金	323	543
デリバティブ債務	272	122
その他	1,738	1,600
流動負債合計	17,289	14,612
固定負債		
長期借入金	3,278	3,471
リース債務	620	928
退職給付引当金	450	459
役員退職慰労引当金	379	394
修繕引当金	13	22
デリバティブ債務	2,056	973
その他	202	224
固定負債合計	7,001	6,474
負債合計	24,290	21,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,529	5,155
資本剰余金	2,176	5,539
利益剰余金	3,588	7,700
自己株式	△249	△0
株主資本合計	9,045	18,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	19
繰延ヘッジ損益	—	175
為替換算調整勘定	△104	△187
その他の包括利益累計額合計	△97	6
少数株主持分	6	16
純資産合計	8,954	18,418
負債純資産合計	33,245	39,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	18,117	29,557
売上原価	9,785	16,148
売上総利益	8,331	13,409
販売費及び一般管理費	5,718	7,599
営業利益	2,613	5,809
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	8
受取賃貸料	18	21
仕入割引	25	5
為替差益	—	300
その他	68	78
営業外収益合計	122	413
営業外費用		
支払利息	88	109
売上割引	171	250
為替差損	250	—
その他	1	97
営業外費用合計	511	457
経常利益	2,224	5,766
特別利益		
デリバティブ評価益	—	1,214
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	1,214
特別損失		
事務所移転費用	—	14
事務所移転費用引当金繰入額	131	—
減損損失	—	19
デリバティブ評価損	852	—
その他	37	8
特別損失合計	1,021	42
税金等調整前四半期純利益	1,203	6,938
法人税、住民税及び事業税	1,112	2,329
法人税等調整額	△494	△15
法人税等合計	617	2,313
少数株主損益調整前四半期純利益	586	4,625
少数株主損失(△)	△2	△2
四半期純利益	588	4,627

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	586	4,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	12
繰延ヘッジ損益	—	175
為替換算調整勘定	△111	△83
その他の包括利益合計	△122	103
四半期包括利益	463	4,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	467	4,731
少数株主に係る四半期包括利益	△4	△2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	16,297	1,428	390	18,117	18,117
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,347	84	—	1,431	1,431
計	17,644	1,512	390	19,548	19,548
セグメント利益又は損失(△)	3,533	282	△110	3,705	3,705

(注) なお、前連結会計年度末をもってリビング事業から撤退しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,705
セグメント間取引消去	△164
全社費用(注)	△926
四半期連結損益計算書の営業利益	2,613

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	24,639	4,356	560	29,557	29,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,760	128	—	3,888	3,888
計	28,400	4,485	560	33,445	33,445
セグメント利益又は損失(△)	6,160	742	△86	6,816	6,816

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,816
セグメント間取引消去	△180
全社費用(注)	△826
四半期連結損益計算書の営業利益	5,809

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月5日を払込期日とする一般募集による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,126百万円増加し、同日を払込期日とする一般募集による自己株式の処分により、その他資本剰余金(自己株式処分差益)が1,736百万円増加し、自己株式が249百万円減少しております。

また、平成24年9月20日付で転換社債型新株予約権付社債1,000百万円の株式転換が完了し、資本金及び資本準備金がそれぞれ500百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,155百万円、資本剰余金が5,539百万円、自己株式が0百万円となっております。